

STOP！介護崩壊 介護ウェーブ2013推進ニュース

# 「社会保障・税一体改革」阻止・介護保障制度の抜本改善を！！ - 今年も介護の “Big Wave” をおこそう！ -



介護ウェーブの大波 各地でつきつき その3



## 各地で署名等の宣伝行動と地方自治体への働きかけ (国への意見提出) に取り組もう



11月11日 介護の日 鉄人前行動

11月11日（月）介護の日、長田区の鉄人広場前商店街で「介護保険の改善署名宣伝」行動を行い、駒どりの法人事業所から10名の参加で、ビラ200枚を配布し署名は24筆が集まりました。当日は寒風と小雨の中でしたが、「介護予防が保険からはずされようとしています。特養ホームは「要介護3」からしか入居できません。利用負担者が倍に検討されています」などの呼びかけに、年配の方だけでなく若い方も足を止めて署名に応じてくださいました。（福）駒どりでは、1職員2筆以上を早急にひろげあつめようと奮闘中です。（社会福祉法人駒どり 崎本）



## 『軽度者はずしを許さない 要支援1・2の方へのアンケート』

(民医連新聞 (11月18日号) や一般の新聞でも、取りあげられました。)

この調査は署名活動に取り組む中で利用者から「署名も良いけれど、私たちの生活実態を行政に伝えて欲しい。私も行政マンだったが生々しい実態を前には市民の声を無視できなかった」との意見を愛けて取り組むことになりました。

介護保障を求めるひろしまの会を立ち上げ、実施しました。本結果については8/29に対市交渉、記者会見、確定版へとし冊子化する予定（\*9/25付で冊子化されています）です。

(広島医療生活協同組合 本浦孝典)

＜調査の結果概要です＞広島市域の介護事業所をつうじて要支援1・2の利用者にアンケートを978部配布、439部の回収（回収率44.8%）でした。思った以上の回収率で、自由記載欄は、小さな枠であったにも関わらず、びつりと書いてありました。

回答の中では、高齢者のみの世帯が 79.8%、健康や生活への不安と、悪化が在宅生活継続を困難にさせる状況を見ることができます。介護保険の利用のきっかけは、「体調を崩して不安だった」「退院時に勧められた」と 67%が体調の不安などの理由でした。現

「別れて不安だった」「迷ひで心を勧うつむいた」と、67.6%が伴説の不安などの理由でした。児童利用していて役立っているサービスは、ヘルパーとデイサービス、福祉用具でした。高齢者の体調等による生活困難を支える重要なサービスであることが分かります。介護保険を利用して良かったことは「家事に不足がなくなり生活が安定した」「運動を定期的に行い元気になった」「相談相手が増えた」など、健康維持・回復、生活不安の改善に大きく役立っていることが分かります。閉じこもりや孤立を予防する効果もあることが分かります。

この調査結果を受けて、「**私たちの提言**」を出しています。

1. 体調の悪化など要介護状態に陥ることを予防しています
  2. 軽度者外し、2割負担は生活崩壊を招きます
  3. 配食サービスやあんしん電話の拡充を
  4. 相談機能は不可欠です（ケアマネジメント機能が弱体化すると生活が困難になる高齢者や家族が続出する恐れがあります）
  5. 経済的な負担軽減策の拡充を

